

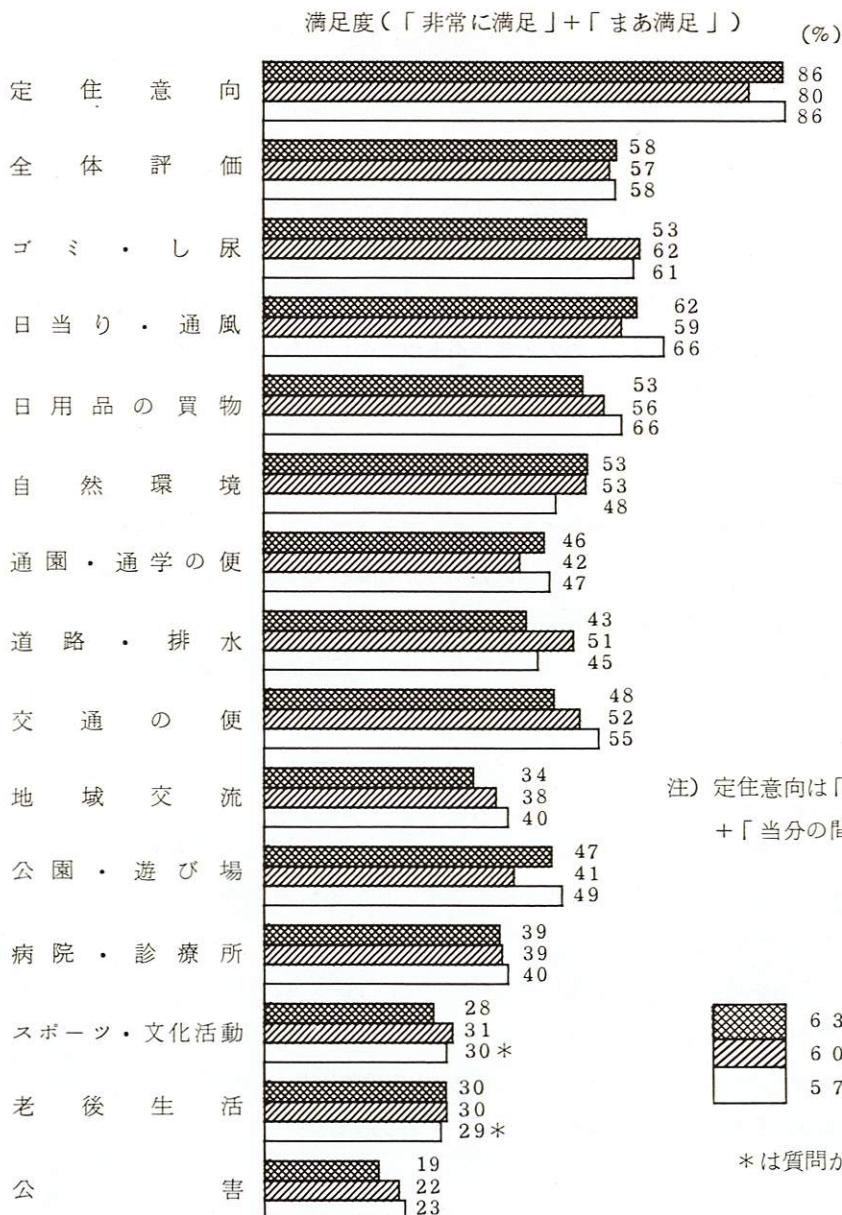
## II 結果のあらまし

### 1 定住意識

市民の44%は昭和50年以降の転入者で占められており、さらに昭和60年以降の転入者は18%を占めており、居住歴の浅い市民が多いにもかかわらず、定住意向（「ずっと住みたい」+「当分の間住みたい」）は86%で60年調査と比較すると6%増加しており、高い水準である。

（注、「市民」とは20歳以上の市民のことである。）

### 2 生活環境の評価



注) 定住意向は「ずっと住み続けたい」  
+「当分の間住みたい」

  
 63年調査  
 60年調査  
 57年調査

\*は質問が異なる

地域の生活環境について 13 項目の満足度を調査した結果、「日当り・通風」などの 5 項目が 5 割以上の満足度を示した。一方、「公害」に対する不満はかなり高く「不満」が 5 割で、「不満」が「満足」を上回っている唯一の項目である。なお、57 年調査からの変化は、「自然環境」、「病院・診療所」などに対する満足度が高まり、逆に、「交通の便」、「地域交流」などに対する満足度が低くなっている。

### 3 福生市の将来像

福生市の将来像がどうあってほしいかについては、最も多いのは、「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」(50%)で、次いで、「空気や水のきれいな公害のないまち」(30%)であり、市民は自然環境に恵まれた田園的な住宅都市が理想的な将来像と考えている。

### 4 福生市の魅力

まず、福生市内にあるものや福生市内の行事等の周知度については、「玉川上水」、「多摩川」、「市民体育館」、「横田基地」、「七夕祭り(8月)」などは 9 割を超えて、ほとんどの市民は知っていることになる。さらに、その中で、実際にいったり、参加したことのあるものを聞いたところ、「七夕祭り(8月)」が最も多く 93% で、次いで、「多摩川」84%、「横田基地」79% の順になっている。また、さらに、その中で、福生市らしい魅力を感じるものあげてもらった結果、「七夕祭り(8月)」63%、「横田基地」29%、「多摩川」20% の順になっていた。

### 5 横田基地

横田基地については、「国の防衛施策の施設であり、あって当然である」という意見が 4%、「国政上の問題であり、あってもやむを得ない」が 16%、「あってもやむを得ないが、騒音対策や生活環境整備に力を入れるべきだ」が 56% と肯定・容認の立場が 76% である。これに対して否定的立場は、「市の発展に影響しているので、ない方がよい」13% と「必要な施設と思うが、福生市にあるのは困る」5% の合計 18% である。

### 6 市政への市民参加

市政に要望や苦情があった場合のその解決方法については、「市役所の窓口(苦情担当)へ行って話す」(23%)、「担当の係へ手紙を出したり電話をする」(17%)、「直接担当の係へ行って話す」(12%) の順で多くなっている。

次に、市政への参加意向を聞いた結果、「積極的に参加したい」は 2%、「機会があれば参加したい」は 34%、「求められれば参加したい」は 33% で、参加意向を持つ市民は 69% で約 7 割である。さらに、参加意向をもつ市民にその参加方法を聞いたところ、「市の施設などの見学会」(41%)、「市政世論調査」(40%)、「市民の自主的な集まり」(37%) の順に多くなっている。

## 7 ボランティア活動

ボランティア活動の参加経験度は13%で、市民の8人に1人はボランティア活動の経験がある。また、ボランティア活動の経験がない人に、今後の参加意向を聞いた結果、32%が「したいと思う」と答えており、さらに、してみたいボランティア活動を具体的に聞いたところ、「一人暮らし老人や寝たきり老人との世間話」が37%と最も多く、次いで、「社会福祉施設で、掃除、洗濯等のお手伝い」33%、「障害者や一人暮らし老人などの買物などの付添い」24%と続いている。

ボランティア活動を活発にするために市が力を入れるべきことについては、「ボランティアのことについて気軽に相談できる窓口を設ける」が40%と最も多く、次いで、「ボランティア活動の拠点となるセンター（施設）を設置する」、「ボランティアを育成するために、研修会や講習会を積極的に開く」31%と続いている。

## 8 高齢化社会

老後の生活については、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」が最も多く37%、次いで、「毎日の生活の中で、家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」31%、「自分に適した仕事をもちたい」21%、「老人クラブ、サークル活動に参加したい」6%となっている。

高齢期の生活への準備については、「収入、貯蓄などの確保」（59%）が1位にあげられている。次いで、「体力の増進や健康の保持」（40%）、「趣味をもつ」（27%）の順になっている。

今後の高齢者対策の要望については、「スポーツ・レクリエーション施設やお年寄りが気軽にあつまれる施設を充実」（38%）が最も多く、次いで、「老人ホームや病院つきの老人施設を充実する」37%、「お年寄りの働く場所や就職あっせん機関を増やす」36%となっている。

## 9 まちづくり

2、3年前と比較した福生市の街全体からうける印象については、32%が「良くなった」と答えている。「かわらない」は50%、「悪くなった」は4%であった。

美しい、住みよい「まち」づくりに必要なことを聞いた結果、「街路樹などを植えたりして、街に緑を多くする」が57%と最も多かった。次いで、「残された緑を守る」54%、「河川や河川敷をきれいにする」48%と続いている。

次に、住みよい環境を保つために、建物の色や形などを決めたり、高さを制限するなどのルールを住民で自主的に作ることが、必要であるか、ないかを聞いた結果、「必要である」と答えた人は45%で、「必要でない」と答えた人31%を上回っている。

## 10 国際化社会

市が国際化を進めていくうえで、力を入れるべきことを聞いたところ、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化交流を盛んにする」が40%と最も多く、次いで、「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」37%、「交換留学生や研修生の派遣などの事業を盛んにする」28%

%の順になっている。

## 11 ニューメディア

高度情報化社会の中で、ニューメディアの利用による市民の欲しい情報は、「在宅診療」が最も多く31%であった。次いで、「旅行・レジャー情報」26%、「趣味・娯楽情報」24%と続いている。

## 12 施策の要望

これから市政に対して、力を入れてほしいものは「騒音などの公害対策」39%で、「社会福祉対策事業」30%、「公営住宅などの住宅対策」21%などが特に多い。57年調査より1位と2位に変化はないものの、今回は、3位に「公営住宅などの住宅対策」が入っており、深刻な住宅問題を反映している。